

令和5年4月3日

令和5年度 福岡市立福翔高等学校経営方針

校長 藤 菊英

志を持ち、自らの目標を達成しようと努力する生徒と、意欲的・建設的に学校運営に参画する教職員の協働により、「熱・意気・力」の校訓を具現化する学校をつくる。

そのために、すべての教職員が元気で生徒が安心して学べ、成長できる学習環境づくりと学力向上による進路実現をめざし、生徒に誇りと自信を持たせる教育活動を実践する。

また、市民からの期待と信頼をさらに高めるために、福翔改革を推進し、本校の新たな歴史を切り開く学校づくりを進める。

【 めざす学校像 】

「熱・意気・力」の校訓を具現化する「文武両道」を体現する生徒が数多く活躍する学校

【 めざす生徒像 】

「文武両道」をめざし、学習活動や部活動などの様々な体験活動を通して、多様な社会に対応できる能力を身に付けた生徒

※「文武両道」とは

「文武両道」とは、一人一人の人間が「文」にも「武」にも長けていることであり、「文」とは教科などの勉強のこと、「武」とはスポーツをはじめとする為すこと（経験を伴った学び）であり、運動部も文化部も生徒会も係・ボランティア活動もすべて「武」と考えています。したがって、「文武」とは、学ぶことすべてということです。

【 めざす職員室像 】

ポジティブで、同僚的な職員室（チーム福翔）

「スピード」「参加」「意欲」「コミュニケーション」「改善志向」「効率」

【 教育目標 】

- (1) 自己理解を深め、進路目標を設定し、個性の伸長と目標実現に向けて積極的に活動する人間を育成する。
- (2) 自ら考える力と豊かな心を持ち、他と協調して課題解決に取り組み生活を改善しようとする人間を育成する。
- (3) 国際化や高度情報化など社会の変化を自覚し、生涯学習を通して自己教育力を高めながら社会に貢献しようとする人間を育成する。

【 教育方針 】

- (1) 学力と体力の修練に努め、その充実・向上を図る。
- (2) 礼節をわかまえさせ、基本的な生活習慣を身につけさせる。
- (3) 責任感と協調性を持ち、勤労を尊ぶ精神を養わせる。
- (4) 個性を生かして創造性を発揮させ、適性と能力に応じた進路指導の推進を図る。
- (5) 自主的・自発的な精神で生活を営む態度を養うよう努めさせる。
- (6) 人としての生き方・在り方を追究させることを通して、人権尊重の意識を高め、差別をなくす力を育てる。
- (7) コミュニケーション能力を高め、多種多様な情報を適切に収集・処理・発信できる能力を育てる。

## 【 令和5年度の重点目標 】

合い言葉 : 「シン（進・新・深）化の年」

### (1) 組織的な学校運営と危機管理の徹底

「すべては生徒のために」を常に意識し、教職員のもっている力を結集して、各部・各教科等が連携し、組織的に生徒の指導や校務運営にあたりるとともに、日常的に危機意識をもち、起こりうることを想定しながら教育活動を行う。

### (2) 福翔改革サードステージ第3章の推進

キーワード「総合学科」「伝統×時代」「授業改善×アントレプレナーシップ教育」のもと、昨年度決定事項を着実に実行するとともに、本年度は新たにコース・プログラムの名称・編成、カリキュラムの見直し、大学等特別入試への対応や高校入試制度等についての検討を進め、決定する。

### (3) アントレプレナーシップ教育の推進

「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間（デザイン思考）」及び「ジュニア・アチーブメント・プログラム（ジョブシャドウ・SCP・ミース）」等、全教職員で組織的に取り組んできた福翔キャリア教育をさらに磨き、福翔アントレプレナーシップ教育として確立させる。

### (4) 希望進路の実現と部活動の活性化

総合学科の強みを活かしながら、特別入試対策ガイダンス導入をはじめ、ガイダンスの機能をさらに充実させるとともに、各々の進路に応じた学力の定着を図る。

部活動活性化を推進する。（体制、実績、活動内容等）

### (5) 働き方改革への取組継続

ワークライフバランスの確立や生徒と向き合う時間の確保を目指し、業務改善を引き続き模索する。

## ○ 福翔スピリット

### 自由闊達

多様性を尊重し、組織内外の活発なコミュニケーションやネットワーク形成を通じて、全教職員の能力が活かせる風通しが良く活力ある学校風土を醸成します。

### 伝統進化

伝統を継承しつつ、先進的な課題に挑戦することにより付加価値を生み出しながら、健全な学校として永続的に進化・発展します。

私たちは、元気で明るく、熱意と誠意、そして福翔の教師としての規律を持ったプロフェッショナルの集団として、教育活動に取り組みます